

令和2年度安房地域保健医療連携・地域医療構想調整会議委員からの意見及び県回答について

【議事1】2025年に向けた医療機関毎の具体的な対応方針について

	意見	回答
1	人口減少、少子高齢化に伴い、これまで以上に連携、再編が必要と考える。	ご意見いただきまして誠にありがとうございます。 今後も限られた医療資源であっても質の高いサービスが受けられるよう、将来の医療需要や各医療機関が担っている医療機能の現状を地域医療構想調整会議で共有し、医療機関相互の協議や自主的な取り組みを促すことで、医療機関の病床機能の分化と連携を推進してまいります。
2	地域医療における役割分担をもう少し明確にすべき。	ご意見いただきまして誠にありがとうございます。 引き続き、将来の医療需要や病床機能報告データ等を調査・分析の上、地域医療構想調整会議等において共有、検討することなどを通じて、地域において必要な医療提供体制の整備が進むよう取り組んでまいります。
3	急性期病床を減じ、回復期病床を増やすとの目標だが、公立の医療機関にその役割を丸投げされては困る。介護サービスと回復期はかぶるところもあり、その部分を見て目標を立ててほしい。	ご意見いただきまして誠にありがとうございます。 地域医療構想において、公立・公的医療機関に一律に機能転換を求めるものではありませんが、国からは、公立・公的医療機関は医療需要等を踏まえ、地域の民間医療機関では担うことができない分野に重点化するよう医療機能を見直し、地域医療構想調整

		<p>会議で議論することが求められています。</p> <p>このことを踏まえ、公立・公的医療機関と民間医療機関との役割分担等について、今後も地域医療構想調整会議で協議を続けてまいりたいと考えております。</p>
4	<p>感染症病床は、機能別病床数のどこに分類されるのか、ご教示をお願いいたします。</p>	<p>ご意見いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>機能別病床は一般・療養病床を有する病院及び診療所を対象としていることから、感染症病床は含まれておりません。</p>
5	<p>非稼働病棟の再稼働については、条件が整ったら再稼働してほしいと思います。</p>	<p>ご意見いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>県では、今後の再稼働の予定について、再稼働の意向がある場合には早期の稼働を促すとともに、稼働の予定がない場合には、病床の自主返上を働きかけているところです。</p>
6	<p>鴨川国保の転換は不足している後方ベッド確保にとても有用と思われる。今後、地域として不足している人工呼吸器等を扱える特殊療養ベッドの確保なども検討していく必要があると思われる。</p>	<p>ご意見いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>今後の地域医療のあり方の参考とさせていただきます。</p>
7	<p>行政は非稼働有床診療所についてどのように考えているか教えてください。現役医師の高齢化により、再稼働はハードルが高い状態ですが、後継者がいれば再稼働を考えます。</p> <p>以前、有床診療所を無床に変更すると、有床診療所への再申請は難しいとのことでしたが、行政からアドバイスがあればと思い</p>	<p>ご意見いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>県では、今後の再稼働の予定について、再稼働の意向がある場合には早期の稼働を促すとともに、稼働の予定がない場合には、病床の自主返上を働きかけているところです。</p> <p>また、小児、救急、周産期又は地域包括ケアに該当する診療所</p>

	ます。	に関しては特例により届出で病床を設置することも可能となっておりますのでご相談ください。
8	2025年の目指すべき医療提供体制の実現に向け、県全体で引き続き地域医療構想を推進するとともに、地域による医療の偏在解消を目指すことを期待します。	ご意見いただきまして誠にありがとうございます。 今後も限られた医療資源であっても質の高いサービスが受けられるよう、将来の医療需要や各医療機関が担っている医療機能の現状を地域医療構想調整会議で共有し、医療機関相互の協議や自主的な取り組みを促すことで、医療機関の病床機能の分化と連携を推進してまいります。
9	地域にとって、いつでも入院できる病床は不可欠であるが、平成31年2月、スタッフの不足や人口減から療養病床は休床とした。今年1月に新型コロナウイルスのクラスターが発生したことから、下り搬送患者も受け入れることとしたが、基本的には今後も一般病床32床を継続していく。	ご意見いただきまして誠にありがとうございます。 貴院の今後の方針につきまして承知しました。

【議事2】糖尿病性腎症重症化予防対策の推進について

	意見	回答
1	とにかく自分の体への意識を高める取り組みをして健診受診率の上昇が必要。4（1）に必要時腎臓専門医とあるが、予防対策であれば糖尿病早期発見から糖尿病内科医へ早期連携のほうが先と思われる。	ご意見いただきありがとうございます。 保険者が特定健診からハイリスク者を抽出し受診勧奨することに加え、腎機能低下時にはかかりつけ医から腎臓専門医・糖尿病内科医へ紹介いただく等、引き続き連携促進を図ってまいります。

		す。
2	糖尿病治療の変化が著しく、対応治療も依然と較べ進化している。腎症悪化の予防策も増えており、これまで以上に対象者の指導が必要である。	ご意見いただきありがとうございます。 保険者における保健指導従事者を対象とした研修会において、最新の知見を踏まえた内容を取り入れる等、保健指導従事者の資質向上を図ってまいります。
3	病診連携が大切だと思います。	ご意見いただきありがとうございます。 かかりつけ医と糖尿病・腎臓専門医間の紹介・逆紹介が円滑に行われるよう、引き続き紹介基準の周知や連携体制の構築を図ってまいります。
4	現在、地域の医療機関がチームを組んで予防対策を施行しているが、行政からの指摘があれば、今後更なる検討をします。	ご意見いただきありがとうございます。 引き続き、特定健診から受診勧奨されたハイリスク者に対し、定期的な検査の実施等の御協力をお願いします。
5	プログラムに則り予防対策を推進して欲しい。糖尿病予備群、未治療者を洗い出し、保健指導を充実して欲しい。	ご意見いただきありがとうございます。 引き続き、リスクの高い者への保健指導及び受診勧奨を推進してまいります。
6	「千葉県糖尿病性腎症重症化予防プログラム」に基づき、館山市においても「館山市糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を策定し、市における状況と課題及び実施について、事業実施前に、医師会に情報提供している。 「健診事後指導」と「治療中断者に対する健診受診勧奨」を取	ご意見いただきありがとうございます。 今後とも、患者のQOL維持向上、医療費適正化に向け事業推進をお願いします。また、県が事業推進するにあたり、貴市の工夫点や課題等の情報提供に今後ともご協力をお願いします。

	<p>り組みの主としており、事業終了後においても医師会に実績を報告するなど連携している。</p> <p>なお、糖尿病性腎症重症化予防対策については、引き続きプログラムを策定し実施していく。</p>	
7	<p>外来と健診で対応していく。</p>	<p>ご意見いただきありがとうございます。</p> <p>今後とも事業推進に御協力をお願いします。</p>

【議事3】医療計画及び介護保険事業（支援）計画における整備目標及びサービスの量の見込みに係る整合性の確保について

	意見	回答
1	<p>安房医療圏の特性を生かす対応が望まれる。県全体から観て温暖な地域です。サナトリウムの施設も今後ニーズが高まると考えられる。</p>	<p>ご意見いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>今後の地域医療のあり方の参考とさせていただきます。</p>
2	<p>令和4年に完成予定の新病院で、介護のベッドが順調に稼働すれば、整備目標と整合性の確保についても、多少の変更があると思われま。</p>	<p>ご意見いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>療養病床から介護医療院等へ転換する場合には、計画で定められた必要利用定員総数を超える恐れがある場合に介護保険法上の指定を拒否できる「総量規制」の対象外となりますが、転換以外の場合には、原則として、介護保険施設については介護保険事業（支援）計画に定められた範囲内で整備を行っていただくこととなります。</p>
3	<p>介護福祉施設としては、安房地域に今後施設が増えていくこと</p>	<p>ご意見いただきまして誠にありがとうございます。</p>

	には懸念する面もあります。人材確保が困難になるためです。	今後の事業推進にあたっての参考にさせていただきます。
4	町の訪問看護事業に協力していく。	ご意見いただきまして誠にありがとうございます。 今後とも事業推進に御協力をお願いします。

【報告事項 1】 令和元年度病床機能報告と定量的基準に基づく病床機能の推計値

	意見	回答
1	病床機能の推計値は、地域毎の修正や補正してからでないと、現状を反映していない意味の薄いデータのように思えます。	ご意見いただきまして誠にありがとうございます。 定量的基準に基づく病床機能の推計値については、地域の医療機能の現状を分析し、医療機関の皆さまが医療機能の分化と連携を議論するための目安としてお示ししています。 なお、今回の算定にあたっては、過去の協議（安房地域においては平成 30 年度第 3 回地域医療構想調整会議における協議）に基づき、各圏域の医療状況に応じて補正を行っております。

【報告事項 2】 令和元年度地域医療介護総合確保基金による各種事業の実施状況について

	意見	回答
1	医療及び介護従事者の確保が重要と考えます。	ご意見いただきまして誠にありがとうございます。 引き続き、関係団体等と連携を図りながら、医療及び介護従事者の確保に向けた取組を実施してまいります。
2	安房地域の補助事業のうち、他事業のなかに介護士育成事業	ご意見いただきまして誠にありがとうございます。

	<p>(可能ならば貸付でなく補助金のほうが良い) の充実を考える時期だと思います。</p> <p>看護師は充実してきましたが(安房地区外では不足)、介護士の不足は深刻です。早期の改善が必要と思われます。</p>	<p>本県では、地域医療介護総合確保基金を活用し、医療分野のみならず、介護分野においても、人材の確保・育成・定着に向けた様々な取組を実施しています。</p> <p>その一つとして、千葉県介護人材確保対策事業費補助金があり、介護分野への新規就業や介護職員のキャリアアップ等を図る取組に対して支援を行っています。</p> <p>本補助金がより多くご活用いただけるよう周知を図っていくとともに、介護人材の確保・育成・定着に向けて、さらなる取組を進めてまいります。</p>
3	<p>医師修学金貸付事業は新規利用者が昨年度より増加しており、県の医療従事者の人材確保につながることから、更なる事業展開に期待したい。また、若年層の他、中堅層の人材確保も施策検討いただきたい。</p>	<p>ご意見いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>引き続き、医師修学資金貸付制度の利用者を確保するとともに、医師免許取得後、円滑に地域医療へ貢献できるよう、本人の希望するキャリア形成との両立を支援します。また、研修環境の充実による若手医師の県内外からの確保、職場環境や処遇の改善を促進することによる定着促進、医師少数区域等への医師派遣促進による偏在是正等、様々な側面から対策を講じてまいります。</p>

【その他】

	意見	回答
1	<p>病院や医療施設の統廃合を考えているなら、まず、慢性赤字の</p>	<p>御意見いただきまして誠にありがとうございます。</p>

	<p>県立病院について今後、どう考えているのか。</p> <p>東千葉メディカルセンターは昨年、内部告発があり、累積赤字はかなりの額です。しかし、逆に考えれば、今だからこそ改革もできると考えます。行政と病院執行部がスクラムを組んで、現場主義で努力すれば、道が開けるような気がします。</p>	<p>県立病院の財政状況については、現在策定準備を進めている次期改革プランを着実に実行し、経営改善を図ってまいります。</p> <p>また、設立団体である市町と連携しながら、東千葉メディカルセンターの改善に向けて、必要な助言を行ってまいります。</p>
2	<p>参考資料1の2（1）感染拡大時には機動的に対応することを前提に、とありますので、それについても取組を進めていく必要があると思います。</p>	<p>ご意見いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>国から、新興感染症等の感染拡大時における医療について、次期医療計画に追加する方針が示されています。</p> <p>県では、今後、国から示される指針等を踏まえながら、新興感染症等の感染拡大時における医療提供体制の確保について検討する予定です。</p>
3	<p>医療保険者としては、加入者や県民が安定した医療が受けられるよう医療機能の充実に引き続き努めていただくようお願い申し上げます。また、自治体や県には、保険者と連携して効果的な広報を実施するなど、協会けんぽや各保険者を活用していただくようお願いしたい。</p>	<p>ご意見いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>これまでも保険者協議会を通じて広報を実施しており、今後とも県民だよりや公共放送を活用し、効果的な広報等に努めてまいります。</p>
4	<p>コロナ禍で書面開催は理解できますが、双方向の議論ができないまでも、ビデオ配信などで説明いただけると委員の皆さまも理解が深まると思いますし、次回会議にもつながっていくと考えます。Zoom等での会議とは言いませんが、何らかの方法で説明いた</p>	<p>ご意見いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>今回は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による緊急事態宣言が発令される中、感染防止の徹底等を図るため、書面開催とさせていただきます。</p>

<p>だきたく、お願いいたします。書面だけでは専門家でもなく理解しきれません。</p>	<p>次回会議の開催方法につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染状況等を鑑み、適切に判断してまいります。</p>
---	---